

古座川町は大きく5つの地域に分けられます。※地図は次ページ「旧町村単位」参照

高池地域・・・古座川の河口流域に位置し、隣接の串本町と一体的な住宅密集地を形成し、交通の利便性や役場本庁が所在するなど町の中核域となっている。温泉施設を併設した宿泊施設などもあり、観光面でも町の玄関口の役割をしている。

明神地域・・・古座川本流と支流小川が合流する本地域では比較的平坦な農用地が広がっており、上流では古座川随一の観光資源「一枚岩」が位置している。国道371号、県道により串本古座方面また他の地域との交通の便も良い地域である。

小川地域・・・古座川最大支流の小川流域は「滝の拝」など渓谷の自然に恵まれながらも町内で最も過疎化、高齢化が顕著な地域である。奥地資源の活用をめざした広域林道の開設や県道の改良促進が図られていますが、そのすばらしい自然環境の保全についての取り組みも今後の課題となっている。

三尾川地域・・・古座川中流域に位置する本地域は、奥地地域の中継地点であり、域内では緑の雇用担い手住宅が建設され、入居者により地域の活性化が図られている。また国道371号改良工事が進められており、過疎高齢化に悩みつつも今後の地域整備が期待されている。

七川地域・・・町最大の行政区域を持つ本地域は、七川ダム上流に位置し、過疎高齢化が進みつつも、広大な森林資源を背景とした保郷会組織による林業活動や町の特産品である柚子の生産、加工がなされており、新たな施設も完成している。また未整備ながらも、国道371号などの奥地広域交通の要所であり、道路網整備と七川ダム湖畔での桜の広場の活用などが今後の課題となっている。

